

提案趣旨説明書

〈作品タイトル〉

だんのあるまち

〈提案の趣旨〉

新幹線駅としての知名度の低さから、三河安城駅を他駅と同様の手法で開発するのではなく、明らかに異なる手法としての「安城モデル」が必要であると感じました。他駅において進む都市化の対立項として農に着目してみると、安城市はそこに歴史的な文脈が存在していることに気づきます。デンパークなどのイメージから、安城市における農は単に農作物というよりは、花や草木などの植物全般を指すものであるように思いました。

農（花・畑）と人、それを取り巻くまち並みや建物について考えてみると、花壇や人々の談笑といった言葉が想起され、そこから様々な「だん」によるまちづくりプランに三河安城駅前の在り方として可能性を強く感じ提案に至ります。

■本提案は8つの「だん」によるまちづくりプランです。

壇…花壇、畑壇による潤いづくり、環境寄与、食料生産、地域経済寄与

段…建築、ファニチャー等のデザインルール、人々の居場所、立体ガーデンのまち

弾…心弾（はず）むわくわくするまち、会話の弾むまち

談…談笑する声の聞こえるまち、人と人のつながり構築

団…まち並みとしてのまとまり、人々の団結

暖…熱気のあるまち、シーホース三河の鼓舞

断…横断的なまち並み/人々のつながり

だんだん…ゆっくり着実に進めるまちづくり

これらの「だん」で未来の三河安城駅前を描きます。